

# 避難するときの心得

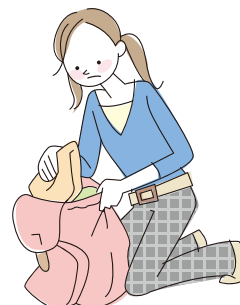
## 避難の準備

### 日頃から避難場所の確認を

高潮被害に備えて、日頃から家族で避難場所や避難経路について確認しておきましょう。

### 情報収集と避難準備が肝心

台風情報は、比較的早く提供されます。テレビやラジオなどの台風情報に注意するとともに、必要な持ち出し品をもう一度確認するなど、すぐに避難できるよう準備しておきましょう。



## 避難を始める場合

### 何より人命が第一

風雨が強くなってから避難することは、大変危険です。あぶないと感じたら、風雨が強くならないうちに、自分からすんで避難しましょう。市の避難場所に自主的に避難するときは、事前に避難場所が開設されているか、確認してから避難しましょう。また、確認の方法も調べておきましょう。

### 早めの避難を

雨の中を子供やお年寄りなどと一緒に歩いて避難するときは、通常の約2倍の時間がかかると言われてます。また、夜間の避難も大変危険です。避難行動は早めに始めましょう。

### 隣近所に声をかけて一緒に避難

避難するときは、隣近所に声をかけ合い、みんなで避難しましょう。ご近所や災害時要援護者関連施設におられる障がいのある方やお年寄り、子供、妊婦など、避難に時間や手助けが必要な方を優先的に避難させるように、みんなで協力して避難の援助をしましょう。

### 浸水した道路は危険

避難するときは、なるべく水路などがそばを通っている道路は避けましょう。浸水した道路を通らなければ避難できない場合は、長い棒などで足元を確認しながら、避難しましょう。



### ひとまず高台などに避難

水深が膝の高さを超えたら、大人でも歩くのが困難になります。ひとまず高台や近くの丈夫な高い建物などに避難しましょう。



### 自動車での避難は危険

自動車での避難はできるだけやめましょう。交通渋滞や事故を招き、緊急車両や避難広報車両などの通行の妨げになります。道路の浸水により、車内に閉じこめられることなども考えられます。

